

## 台場シャトルバスの運賃改定について

### 1. 経緯

#### (1) 運行開始時点（平成 24 年 4 月）

運賃は、都営バスとの競合路線であるため都営バスの運賃に合わせ、大人 200 円、小人 100 円に設定しました。

#### (2) 消費税 8 % 改定時の対応（平成 26 年 4 月）

消費税率が 8 % に改定された際は消費税分を転嫁し、大人運賃を 210 円に改定しました（小人運賃は改定しませんでした）。

|         | H24（運行開始時：5%）                                                                                   | H26（5%⇒8%）                                                                                      |
|---------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 運賃（税込）  | 大人 200 円<br>小人 100 円                                                                            | 大人 210 円<br>小人 100 円                                                                            |
| 消費税率の転嫁 | 大人 $190 \times 1.05 = 199.5$<br>（四捨五入）200 円（※）<br>小人 $95 \times 1.05 = 99.75$<br>（四捨五入）100 円（※） | 大人 $190 \times 1.08 = 205.2$<br>（四捨五入）210 円（※）<br>小人 $95 \times 1.08 = 102.6$<br>（四捨五入）100 円（※） |
| 運賃      | 大人 190 円<br>小人 95 円                                                                             | 大人 190 円<br>小人 95 円                                                                             |

※ 1 円硬貨に対応する料金箱ではないこと、I C カード対応でないことから、四捨五入しています。

#### < 他社の状況 >

| 消費税 | 都営バス                 | 民間バス                 | 台場シャトルバス          |
|-----|----------------------|----------------------|-------------------|
| 5%  | 現金 200 円             | 現金 210 円             | 現金 200 円          |
| 8%  | 現金 210 円<br>IC 206 円 | 現金 220 円<br>IC 216 円 | 現金 210 円<br>IC なし |

## 2. 運賃改定について

### (1) 税抜き運賃の改定

新しいスキームで運行継続した平成 29 年度と 30 年度の運行実績を分析すると、運行経費の約 60%を占めている人件費と燃料油脂料が、想定した経費と比較して約 10%増加しています。

台場シャトルバスの継続的で安定した運行を実現（下記参照）するため、税抜き運賃を大人 190 円から 200 円に、小人 95 円から 100 円に改定します。

#### <5 年間の収支率>

|         |     | 平成 29 年度   | 平成 30 年度   | 令和元年度      | 令和 2 年度   | 令和 3 年度 | 合計（円）                        |
|---------|-----|------------|------------|------------|-----------|---------|------------------------------|
| 収支率の目標値 |     | 75.3%      | 83.5%      | 89.0%      | 94.8%     | 100.9%  |                              |
| 改定      | 収支率 | 75.9%      | 86.4%      | 91.4%      | 97.3%     | 103.6%  |                              |
|         | 補助金 | 44,501,000 | 24,179,000 | 14,107,000 | 4,424,000 |         | 87,211,000<br>(残 12,789,000) |

- ・平成 29、30 年度は実績、令和元年以降は想定です。
- ・令和元年 10 月以降は、改定後の運賃で収支率を算出しています。

### (2) 運賃の改定

税抜き運賃大人 200 円、小人 100 円に消費税分を転嫁し、大人運賃 220 円に、小人運賃 110 円に改定します。

なお、運賃の改定に合わせ、利用者サービス向上のため、未就学児の無賃運送を見直し、無賃として同伴する未就学児を 2 人から 3 人までに拡大します。

#### <現行運賃と改定運賃>

|        |      | 台場シャトルバス |       | 都営バス  | 民間バス  |
|--------|------|----------|-------|-------|-------|
|        |      | 現 行      | 改 定   |       |       |
| 現金（税込） | 大人運賃 | 210 円    | 220 円 | 210 円 | 220 円 |
|        | 小人運賃 | 100 円    | 110 円 | 110 円 | 110 円 |

＜現金等と回数券の現行運賃と改定運賃＞

|         |             | 現 行   | 改 定   |
|---------|-------------|-------|-------|
| 現金等（税込） | 大人運賃        | 210 円 | 220 円 |
|         | 小人運賃        | 100 円 | 110 円 |
| 回数券     | 大人（5,000 円） | 29 枚  | 28 枚  |
|         | 大人（2,000 円） | 11 枚  | 10 枚  |
|         | 小人（2,500 円） | 29 枚  | 28 枚  |
|         | 小人（1,000 円） | 11 枚  | 10 枚  |

※現金等：現金運賃、電子マネー、振替乗車券、港区コミュニティバス乗車券

## 台場シャトルバスの自動車車庫と営業所の移転

### （１） 背景及び目的と効果

台場シャトルバスは、平成 29 年度から令和 3 年度までの 5 年間で黒字化を目指し、補助金を受けて、年々収支率は改善してきています。

5 年目に収支率 100%を目指すにはより一層の効率経営が必要であり、ケイエム観光バス（株）の本社を利用することで、費用削減につながります。

台場からは少し遠くなりますが、国道 357 号東京港トンネル東行きが開通したことにより、新営業所から台場までのアクセスが格段に改善しましたので、緊急対応や臨時便対応も問題ない状況となっています。また、品川駅には現在より若干距離は短縮されます。

### （２） 移転先の自動車車庫及び営業所及びの位置

|                     | 旧                                 | 新                          |
|---------------------|-----------------------------------|----------------------------|
| 自動車車庫 及び<br>営業所の名称  | ケイエム観光バス株式会社<br>東京支店 東雲営業所        | ケイエム観光バス株式会社<br>東京支店 大森営業所 |
| 自動車車庫 及び<br>営業所の所在地 | 東京都江東区東雲 2-6-38<br>東京都江東区東雲 2-6-1 | 東京都大田区大森南 4-5-1            |



### (3) 移転の時期

自動車車庫及び営業所移転は、認可が下り準備ができ次第実施の予定です。

## ちいばすの運行状況について

## 1 利用人員と運行収支

(1) 平成 29 年度及び平成 30 年度実績

ちいばす全ルート of 平成 29 年度及び平成 30 年度実績は以下のとおりです。

## 【平成29年度】

| ●路線別乗車人員 |            | 対前年  |
|----------|------------|------|
| ・田町ルート   | 913,361名   | 106% |
| ・赤坂ルート   | 288,558名   | 98%  |
| ・芝ルート    | 289,113名   | 92%  |
| ・麻布東ルート  | 131,056名   | 92%  |
| ・麻布西ルート  | 344,829名   | 102% |
| ・青山ルート   | 567,010名   | 105% |
| ・高輪ルート   | 773,928名   | 101% |
| ・芝浦港南ルート | 642,598名   | 97%  |
| ・合計      | 3,950,453名 | 101% |

## 【平成30年度】

| ●路線別乗車人員 |            | 対前年  |
|----------|------------|------|
| ・田町ルート   | 947,499名   | 104% |
| ・赤坂ルート   | 306,264名   | 106% |
| ・芝ルート    | 311,892名   | 108% |
| ・麻布東ルート  | 142,423名   | 109% |
| ・麻布西ルート  | 357,277名   | 104% |
| ・青山ルート   | 579,051名   | 102% |
| ・高輪ルート   | 793,030名   | 102% |
| ・芝浦港南ルート | 648,024名   | 101% |
| ・合計      | 4,085,460名 | 103% |

## ●路線別収支率

|          |      |     |
|----------|------|-----|
| ・田町ルート   | 92%  | -1% |
| ・赤坂ルート   | 46%  | -2% |
| ・芝ルート    | 29%  | -4% |
| ・麻布東ルート  | 23%  | 1%  |
| ・麻布西ルート  | 49%  | 0%  |
| ・青山ルート   | 62%  | 1%  |
| ・高輪ルート   | 100% | -2% |
| ・芝浦港南ルート | 67%  | -4% |

## ●路線別収支率

|          |     |     |
|----------|-----|-----|
| ・田町ルート   | 93% | 1%  |
| ・赤坂ルート   | 44% | -2% |
| ・芝ルート    | 28% | -1% |
| ・麻布東ルート  | 23% | 0%  |
| ・麻布西ルート  | 49% | 0%  |
| ・青山ルート   | 63% | 1%  |
| ・高輪ルート   | 98% | -2% |
| ・芝浦港南ルート | 66% | -1% |

## ●全体収支

## 1収入

|        |           |
|--------|-----------|
| ①運賃収入  | 367,335千円 |
| ②広告料ほか | 15,870千円  |
| 計(A)   | 383,205千円 |

## 2経費

|        |           |
|--------|-----------|
| ①運行経費  | 611,955千円 |
| ②一般管理費 | 27,914千円  |
| 計(B)   | 639,869千円 |

## 3 収支率

(A ÷ B) 59.9%

## ●全体収支

## 1収入

|        |           |
|--------|-----------|
| ①運賃収入  | 381,060千円 |
| ②広告料ほか | 11,804千円  |
| 計(A)   | 392,864千円 |

## 2経費

|        |           |
|--------|-----------|
| ①運行経費  | 637,482千円 |
| ②一般管理費 | 27,914千円  |
| 計(B)   | 665,396千円 |

## 3 収支率

(A ÷ B) 59.0%

(2) 平成 30 年度のルート別対前年比較について

平成 30 年度は前年に比べ、各路線とも乗車人員が増加しています。

しかし、燃料費の高騰や車両修繕費の増加により、運行経費が増えており、収支率に影響を与えています。

- ・ 田町ルート(収支率+ 1 % 乗車人員 104%)

平成 29 年 7 月のダイヤ変更による車庫発着便の増便と 7:00 台の始発前倒しの効果が続いています。平成 30 年度までの広告付き上屋に加えて、令和元年度中に 3 件の上屋の設置を予定し、更なる利便性を上げるよう取り組んでいます。

- ・ 赤坂ルート(収支率- 2 % 乗車人員 106%)

赤坂見附駅前、豊川稲荷前、山王下と乗降客の多いバス停が広告付上屋バス停になったことが周知され、利便性があがりました。

- ・ 芝ルート(収支率- 1 % 乗車人員 108%)

虎ノ門付近の再開発等で平成 29 年 10 月頃まで減少していた利用者が一定程度戻り、その後定着しました。

- ・ 麻布東ルート(収支率 0% 乗車人員 109%)

六本木ヒルズ、麻布十番、東京タワーなどをつなぐ、観光路線としての認知度の上昇が乗車人員の増加につながりました。

なお、収支率向上のため、運行ルートの変更や減便の検討を進めています。

- ・ 麻布西ルート(収支率 0% 乗車人員 104%)

運行に影響する取り組み等はありませんでした。

- ・ 青山ルート(収支率+ 1 % 乗車人員 102%)

平成 30 年 3 月のルート変更の効果がでています。

また、45 高橋是清翁記念公園前にアクセス標示が新設され安全性が高まりました。

広告付き上屋が 7 箇所を設置され利便性があがりました。

- ・ 高輪ルート(収支率- 2 % 乗車人員 102%)

東京高輪病院停留においてソーラーパネルを取り付け、視認性があがりました。

- ・ 芝浦港南ルート(収支率- 1 % 乗車人員 101%)

朝 7:00 台に前倒しで運行開始したことが周知され、乗車人員増加に寄与しました。

ちいばす全体の平成 29 年度実績は 59.9%、平成 30 年度収支率は 59.0%です。

令和元年度以降は 60%超の収支率を継続的に維持できるよう経営努力に引き続き努めて参ります。

## 2 運行改善の内容

---

### (1) 広告付き上屋

平成29年4月から乗客の利便性の向上を目的に、広告付き上屋の設置を進めています。  
現在12か所の停留所に広告付き上屋を設置しています。

#### ① 平成29年度設置

4月設置 国道4箇所

121・131 南青山三丁目交差点、123 青山二丁目交差点、124 青山一丁目駅前

12月設置 都道4箇所

14 麻布十番、41 山王下、87 東麻布二丁目、42 赤坂見附駅

2月設置 国道2箇所、都道1箇所

122 外苑前駅、125-2 豊川稲荷前、126 赤坂見附駅

#### ② 平成30年度設置

2月設置 国道1箇所

46 赤坂郵便局前

<広告付き上屋の設置例>

14 麻布十番（設置前）



14 麻布十番（設置後）



41 山王下（設置前）



41 山王下（設置後）



42 赤坂見附駅（設置前）



42 赤坂見附駅（設置後）



87 東麻布二丁目（設置前）



87 東麻布二丁目（設置後）



## （２）停留所へのソーラーパネルの設置

平成 31 年 3 月に 133-2 南青山六丁目と 141 東京高輪病院停留所においてソーラーパネルを取り付けました。視認性の向上の他、災害時夜間のライトアップの一助として地域に貢献しております。

133-2 南青山六丁目



141 東京高輪病院停留所



## （３）安全対策

45 高橋是清翁記念公園前にアクセス標示を新設しました。違法駐車防止に効果を発揮し乗降時の安全性が高まりました。

また、58 新橋駅前バス停及び 117 西麻布四丁目バス停のアクセス標示が補修されるなど、安全の確保への取組みを進めています。

45 高橋是清翁記念公園前 アクセス標示



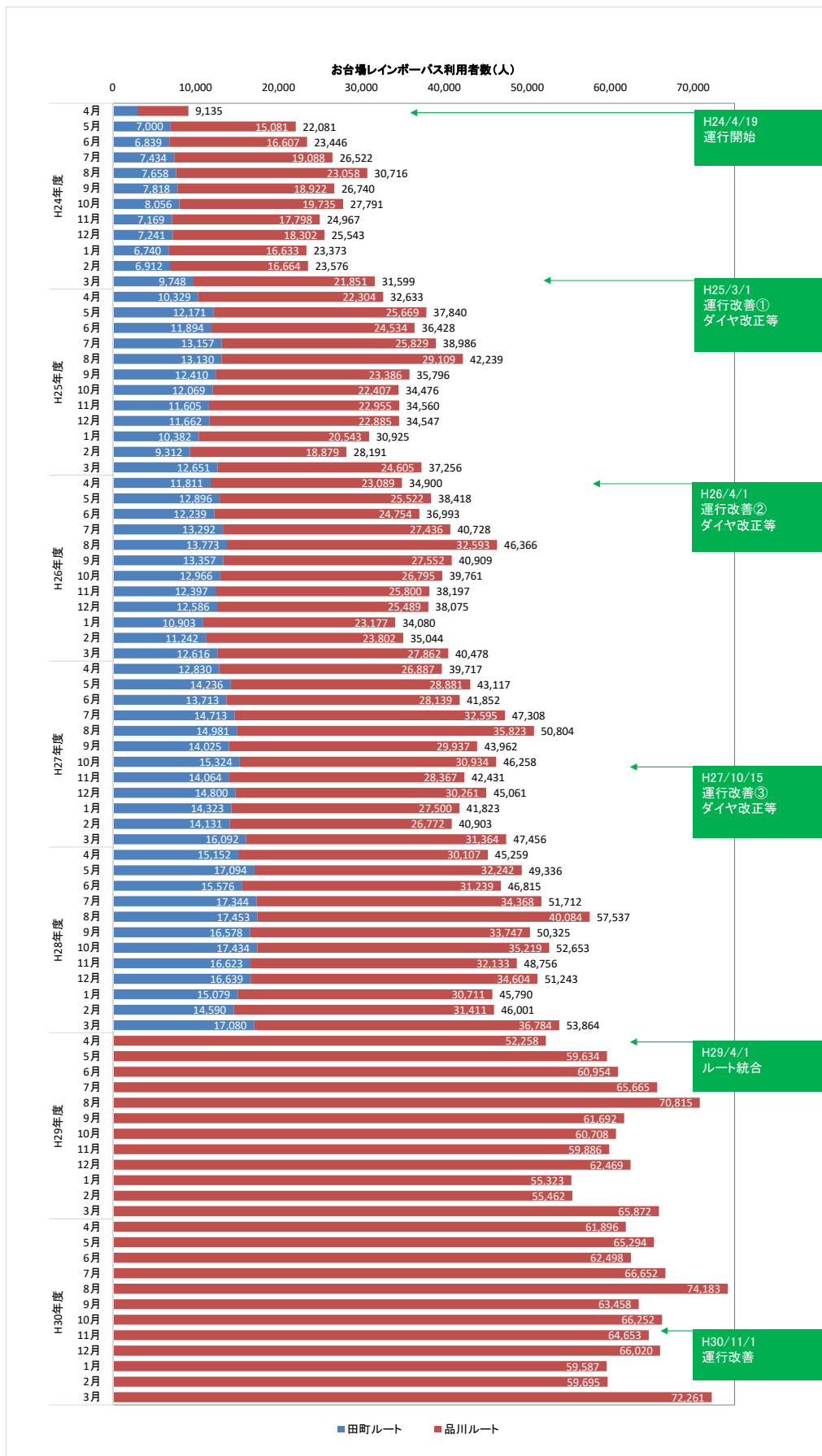
## 台場シャトルバスの運行状況について

### 1. 利用者数の概況

平成 30 年度の利用者数は平成 29 年度に比べて約 5.2 万人増加しており、増加率は 7% となっています。

|     | 利用者数    |         | 増加人数    | 対前年比    |
|-----|---------|---------|---------|---------|
|     | 平成29年度  | 平成30年度  | H30-H29 | H30/H29 |
| 4月  | 52,258  | 61,896  | 9,638   | 118%    |
| 5月  | 59,634  | 65,294  | 5,660   | 109%    |
| 6月  | 60,954  | 62,498  | 1,544   | 103%    |
| 7月  | 65,665  | 66,652  | 987     | 102%    |
| 8月  | 70,815  | 74,183  | 3,368   | 105%    |
| 9月  | 61,692  | 63,458  | 1,766   | 103%    |
| 10月 | 60,708  | 66,252  | 5,544   | 109%    |
| 11月 | 59,886  | 64,653  | 4,767   | 108%    |
| 12月 | 62,469  | 66,020  | 3,551   | 106%    |
| 1月  | 55,323  | 59,587  | 4,264   | 108%    |
| 2月  | 55,462  | 59,695  | 4,233   | 108%    |
| 3月  | 65,872  | 72,261  | 6,389   | 110%    |
| 合計  | 730,738 | 782,449 | 51,711  | 107%    |

お台場レインボーバスの運行開始以降の月間利用者数の推移を次ページに示します。お台場地域の特性として、夏季に増加し、冬季に減少することを毎年繰り返しながら、毎年利用者が増加しています。



## 2. 平成 29 年度および平成 30 年度の運行改善

### (平成 29 年度に実施した運行改善の内容)

平成 29 年 4 月 1 日から、お台場レインボーバスの田町ルートと品川ルートを統合し、全便品川駅港南口発着に変更しました。



#### ★「芝浦三丁目（田町駅入口）」バス停新設

- 台場方面は、現行の「田町駅東口」と合わせて 2 つのバス停が利用でき、田町から台場へは 2.5 倍に増便しました。
- 「品川駅港南口」発着の便数も 1.5 倍に増加しました。

#### ★ 所要時間の短縮

- 「品川駅港南口」から「お台場海浜公園駅前」までは、「芝浦三丁目」経由でも今までと変わらず最短 17 分でアクセスできます。
- 田町から「お台場海浜公園駅前」までは、新設の「芝浦三丁目」から乗車すると最短 8 分で到着し、お台場へのアクセスがより便利になりました。
- ルートを海岸通りから渋滞の少ない旧海岸通りへ変更し、定時性が向上しました。

#### ★ 全ての車両が大型に

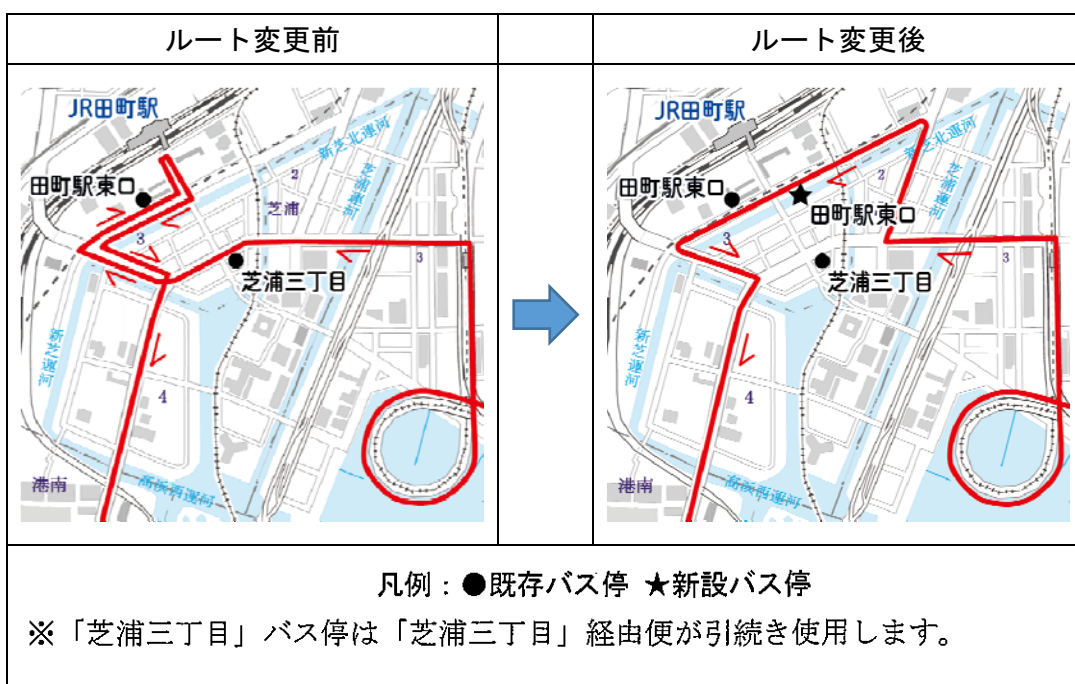
- 平成 29 年 8 月に、中型車両 3 台を大型車両 3 台（車両定員 81 名、座席数 34 名）に入れ替え、全車両が大型車での運行となり、車内環境が向上しました。
- また、ベビーカーが前扉から乗車できるようになるなど、輸送力が向上しました。

## (平成 30 年度に実施した運行改善の内容)

平成 30 年 11 月 1 日から一部路線変更、ダイヤ改正及び新バス停設置を実施しました。

### (1) 「田町駅東口」(品川方面)バス停の新設とルート変更

運行改善前は、「田町駅東口」バス停は台場方面行きと品川方面行きを共用していました。運行改善後は、反対車線側に都バスのバス停との共用で品川方面行きのバス停を新設し、両方向のバス停を分離しました。これにより、品川方面行きのルートを下図のとおり変更し、往復同じルートとしました。また、走行距離短縮により所要時間を 5 分短縮し、右左折の回数を減らすことで渋滞のリスクを軽減し、速達性と定時制を確保しました。



### (2) ダイヤ改定

より一層の利便性の向上を図るため、以下のとおりダイヤ改定を実施しました。なお、実施にあたっては乗務の効率化を図り、人件費等の経費を増加させずに行いました。

- ① 平日は、現在の始発前と終発後に 1 便ずつ増発し、「お台場学園前」発の始発時間を 7 時 5 分から 6 時 45 分に早めるとともに、「品川駅港南口」発の終発時間を 22 時 5 分から 22 時 30 分に遅くしました。
- ② 平日のラッシュ時(午前 8 時台)に 1 便増便しました。
- ③ 「田町駅東口」と「芝浦三丁目(田町駅入口)」の経由便数の振分けを変更しました。

「田町駅東口」利用者の少ない時間帯は現在の 45 分間隔(3 本に 1 本)から 1 時間間隔(4 本に 1 本)とし、所要時間の短い「芝浦三丁目(田町駅入口)」経由便の割合を増やし、品川駅と台場地域との速達性をより高めました。一方、「田町駅東口」利用者の多い土休日の夕方等の時間帯は 30 分間隔(2 本に 1 本)に割合を増やし、田町駅利用者への利便性を高めました。

- ④ 各便のダイヤの微調整を行い、午前中は品川駅港南口からの、午後は台場地区各停留所からの出発時刻を、毎時ほぼ同じ「分」としてパターン化し、利用者に分かりやすく利用しやすいダイヤ設定としました。

### 3. 事業性

平成 30 年度の収支率は 86.4%となっており、平成 29 年度の 75.9%から 10.5 ポイント増加しています。

(千円)

|        | 収益             | 経費                        | 運行収支    | 運行収支率 | 備考           |
|--------|----------------|---------------------------|---------|-------|--------------|
|        | (運行収入・広告・補助金他) | 人件費、営業経費(燃料・修理修繕・保険・施設・他) |         |       |              |
| 平成29年度 | 139,865        | 184,366                   | -44,501 | 75.9% | H29.4.1ルート統合 |
| 平成30年度 | 153,144        | 177,323                   | -24,179 | 86.4% | H30.11.1運行改善 |